

エッセイ

「4つの誕生日を迎えるために」

おおよ なるひこ
(株)銀座屋 フェリーチェ事業部 大谷 稔彦



住 所: 加古川市加古川町粟津468-1
T E L: 090-3991-0222
営業内容: オーダースーツ(メンズ・レディース)

新型コロナウイルスの蔓延で多くの感染者・死者が今もなお増え続けており、世界中が大きな混乱に包まれています。志村けんさんの死は日本中に大きな衝撃を与えました。身近な人や好感を抱いている人の突然の死に触れるとき、生きると言うことについて色んな事を考えさせられます。

○何のために生まれてきたのか

○自分の今生(こんじょう)の人生の使命とは

○幸せな人生とは何なのか

○自分はどのような死に方を迎えたのか

日蓮聖人の言葉に、「まず、臨終(りんじゅう)の事を習(なろ)うて、後(のち)に他事(たじ)を習(なろ)うべし」と言う言葉があります。これは簡単に言えば、どんなことよりもまず、学ぶべきなのは、自分の「臨終のこと」。「死」についてであり、そのあとに他の事を学ぶべきである。という意味です。誰しも、仕事、家庭、地域活動、その他、様々な社会的立場がある中で、目的や目標を持って生きています。しかし、それらは自分の「死ぬ瞬間」のイメージを持ち、逆算した中での目的・目標であることを忘れてはならない。逆を返せば、「自分の臨終の時」をイメージできていなければ、目的をもって取り組んでいる様々なことも、本質的には目的を持っていないのと同じ。

【第4の誕生日】

私の亡くなった母方の祖父(松本元敦)が私に伝えてくれた言葉に、人間には4つの誕生日がある。

第1の誕生日…母からうまれてきたとき

第2の誕生日…自我が芽生えたとき

第3の誕生日…信仰者としての誕生したとき(宗教に目覚めたとき)

第4の誕生日…永遠の命への誕生(死んで、人の心の中で生きはじめたとき)

この4つの誕生日のうち、第3、第4の誕生日を迎えない人がいる。生前、祖父から学生時代の私は、「ジョージ(私の呼び名)、神さまを信じない人は信用できると思うか?」ということを知り、聞いてくれました。これは第3の誕生日を迎えているのか?ということを知りたい。自分より大きな何者か(サムシンググレート)の存在を「確信」した時、人はこの誕生日を迎えることができるのかもしれません。

そして、第4の誕生日。自分が死んだあと、人々の心の中に生き続けているか?今私がこうやって亡くなって約9年も経つ祖父の事を思い出しながら原稿を書いている。これは間違いなく、祖父は第4の誕生日をしており、私の中で生き続けているということです。

私はメンズ・レディースオーダー服の装いの提供を通じて「幸福フェリーチェ」の瞬間を演出し、ステキな旦那様を増やすことを目指しています。単に物を販売するのではなく、「本質的な人々の幸福に貢献」するために、理念の軸はぶらすことなく、時代に合わせた柔軟な事業展開を行いたい。人類にとって大きな試練の時の今だからこそ、改めて祖父の様な第4の誕生日を迎えることができるよう、私なりの臨終の瞬間をイメージし、アップグレードする時間を今は大切にしています。